



2009年8月期
第2四半期決算説明会資料

株式会社 **ビックカメラ**
(東証一部：3048)

はじめに：過年度決算訂正について

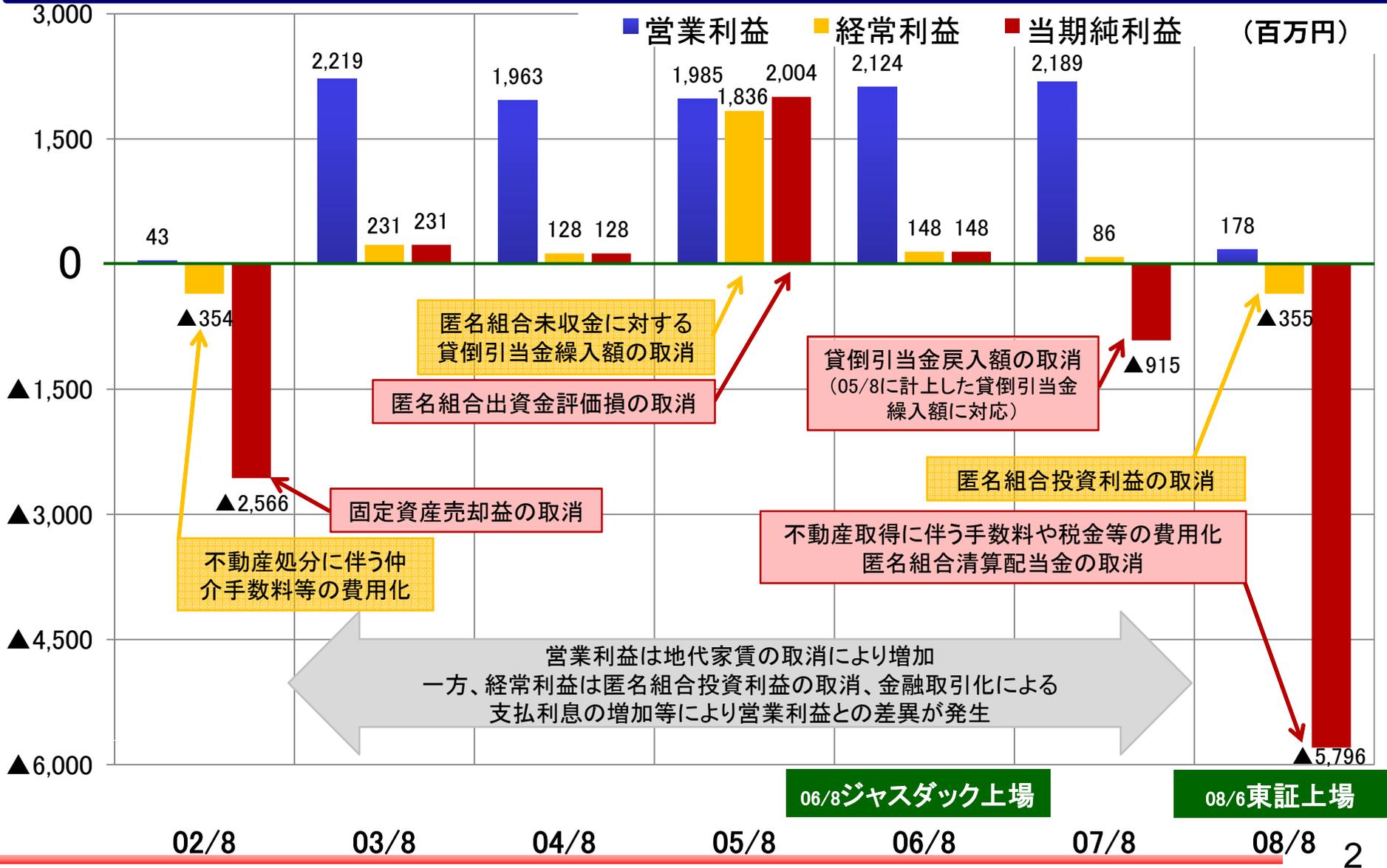
1. 2009年8月期 第2四半期決算概要

2. 2009年8月期 業績見通し

3. 今後の重点施策

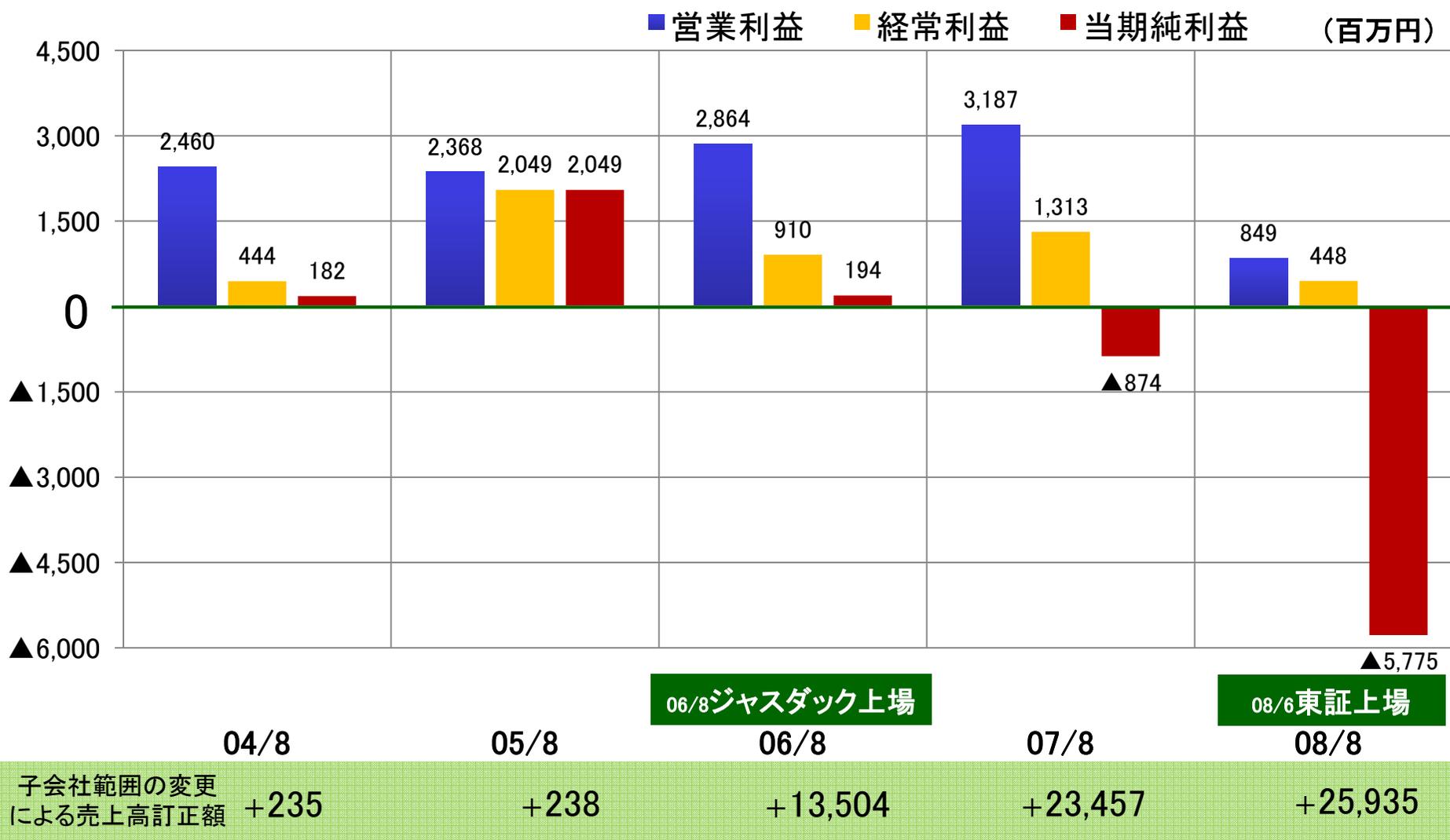
過年度決算訂正の影響(訂正金額 単体P/L)

不動産流動化実施(02/8期)・終了期(08/8期)以外は営業・経常利益増益



過年度決算訂正の影響(訂正金額 連結P/L)

連結子会社の範囲変更による影響有り



過年度決算訂正の影響(連結B/S)

2008年8月期の貸借対照表における主要な影響の要因

(単位 百万円)

	訂正前	訂正後	差額		訂正前	訂正後	差額
流動資産	101,404	108,573	+7,169	流動負債	127,890	134,369	+6,479
固定資産	134,327	129,417	▲4,910	短期借入金	27,768	30,592	+2,824
有形固定資産	65,776	62,054	▲3,722	一年内長期借入金	23,347	23,441	+94
建物	17,685	18,504	+819	固定負債	44,871	45,724	+853
土地	45,924	40,913	▲5,011	長期借入金	38,020	38,555	+535
無形固定資産	16,265	14,329	▲1,936	負債合計	172,761	180,094	+7,333
投資その他の資産	52,285	53,033	+748	純資産合計	63,163	58,089	▲5,074
繰延資産	192	192	0	利益剰余金	25,643	18,934	▲6,709
資産合計	235,924	238,183	+2,259	負債・純資産合計	235,924	238,183	+2,259

ラネット・ボーダレスの
連結化が主因

不動産オンバランス化による簿価訂正が主因

コーポレートガバナンス強化

- ① 内部統制の強化 - 社長直轄の内部統制室設置
- ② 財務と経理の分離 - 経理部とは別に財務部を設置
- ③ 監査体制の強化
- ④ 監査法人との連携強化
- ⑤ 内部監査機能の強化
- ⑥ 常務会の充実化

コンプライアンス強化

- ① 取締役に対するコンプライアンス研修
- ② 適切な連結の範囲の調査及びその確定のための取組み
- ③ 決算訂正で新たに連結対象となった子会社における関連当事者取引の解消・整理

ビックカメラ

1. 2009年8月期 第2四半期決算概要

〔連結〕2009年8月期 第2四半期決算ハイライト



景気減速の影響を受け減収・減益

(単位 百万円)

	08/8期第2四半期 累計期間		09/8期第2四半期累計期間				
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	修正計画	計画比
売上高	311,677	-	294,644	-	▲5.5%	298,000	▲1.1%
売上総利益	72,335	23.2	69,334	23.5	▲4.1%		
販売費及び 一般管理費	63,364	20.3	65,505	22.2	+3.4%		
営業利益	8,970	2.9	3,829	1.3	▲57.3%	5,100	▲24.9%
営業外収益	1,656	0.5	1,833	0.6	+10.7%		
営業外費用	1,533	0.5	1,313	0.4	▲14.4%		
経常利益	9,094	2.9	4,348	1.5	▲52.2%	5,600	▲22.3%
特別利益	274	0.1	-	-	-		
特別損失	1,401	0.4	2,153	0.7	+53.7%		
四半期純利益	1,398	0.4	1,470	0.5	+5.2%	1,400	+5.1%

※売上総利益、販売費及び一般管理費の計画数値は発表しておりません。

〔連結〕2009年8月期 第2四半期末 貸借対照表



(単位 百万円)

	08/2	09/2	前同比
流動資産	102,932	104,030	+1,098
現金及び預金	23,627	24,556	+929
売掛金	18,438	17,066	▲1,372
商品及び製品	43,700	43,961	+261
その他	17,165	18,446	+1,280
固定資産	133,902	129,385	▲4,517
有形固定資産	63,970	62,665	▲1,305
無形固定資産	14,005	14,325	+320
投資その他の資産	55,927	52,394	▲3,533
繰延資産	215	169	▲46
資産合計	237,050	233,585	▲3,465

	08/2	09/2	前同比
流動負債	128,078	136,214	+8,136
買掛金	39,574	35,316	▲4,258
短期借入金	34,141	49,278	+15,137
一年内長期借入金	23,080	22,072	▲1,008
ポイント引当金	11,997	12,796	+799
その他	19,284	16,749	▲2,535
固定負債	58,115	39,656	▲18,459
長期借入金	50,948	32,499	▲18,449
その他	7,166	7,156	▲10
負債合計	186,193	175,870	▲10,323
純資産合計	50,856	57,715	+6,859
負債・純資産合計	237,050	233,585	▲3,465

〔連結〕品目別売上高

ビックカメラ

薄型テレビ、白物家電は堅調に推移したが、
パソコン、デジタルカメラ、ゲームが苦戦

(単位 百万円)

	08/8期 第2四半期 累計期間		09/8期 第2四半期累計期間		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
音響映像商品	70,345	22.5%	89,247	30.3%	+26.9%
家庭電化商品	36,415	11.7%	37,384	12.7%	+2.7%
情報通信機器商品	135,261	43.4%	105,959	36.0%	▲21.7%
その他の商品	68,224	21.9%	60,196	20.4%	▲11.8%
その他の事業	1,430	0.5%	1,856	0.6%	+29.8%
合計	311,677	100.0%	294,644	100.0%	▲5.5%

注 今期よりデジタルカメラのカテゴリーを「情報通信機器商品」から「音響映像商品」に変更しております。

[単体] 2009年8月期 第2四半期決算ハイライト



ECの好調、新店出店も景気減速の影響大

(単位 百万円)

	08/8期第2四半期 累計期間		09/8期第2四半期累計期間				
	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比	修正計画	計画比
売上高	240,364	-	231,089	-	▲3.9%	233,000	▲0.8%
売上総利益	57,880	24.1%	55,974	24.2%	▲3.3%		
販売費及び 一般管理費	49,482	20.6%	52,436	22.7%	+6.0%		
営業利益	8,397	3.5%	3,537	1.5%	▲57.9%	4,500	▲21.4%
営業外収益	1,545	0.6%	1,810	0.8%	+17.2%		
営業外費用	1,349	0.6%	1,132	0.5%	▲16.1%		
経常利益	8,593	3.5%	4,215	1.8%	▲50.9%	5,100	▲17.3%
特別利益	17	0.0%	-	-	-		
特別損失	1,006	0.4%	7,278	3.1%	+623.5%		
四半期純利益	1,651	0.6%	▲3,165	▲1.4%	-	▲3,900	-

〔単体〕2009年8月期 第2四半期総括

ビックカメラ

売上高 2,310億円

- 景気減速の影響を受け全店的に伸び悩む
- テレビ、白物家電は堅調な売上を維持したものの、売上構成の高いパソコン、デジタルカメラ、ゲームが苦戦



営業利益 35億円

- 売上高の減少に伴う売上総利益の減少
- 販管費は期初計画を下回ったものの、前年同期比実績を上回った

第2四半期純利益 ▲31億円

〔単体〕品目別売上高

薄型テレビ、白物家電は堅調に推移したが、
パソコン、デジタルカメラ、ゲームが苦戦

(単位 百万円)

	08/8期 第2四半期 累計期間		09/8期 第2四半期累計期間		
	金額	構成比	金額	構成比	前年同期比
音響映像商品	64,042	26.7%	81,765	35.4%	+27.7%
カテゴリ変更反映後※	80,895	33.7%	81,765	35.4%	+1.1%
家庭電化商品	35,371	14.7%	36,652	15.9%	+3.6%
情報通信機器商品	95,973	39.9%	74,707	32.3%	▲22.2%
カテゴリ変更反映後※	79,120	32.9%	74,707	32.3%	▲5.6%
その他の商品	44,976	18.7%	37,963	16.4%	▲15.6%
合計	240,364	100.0%	231,089	100.0%	▲3.9%

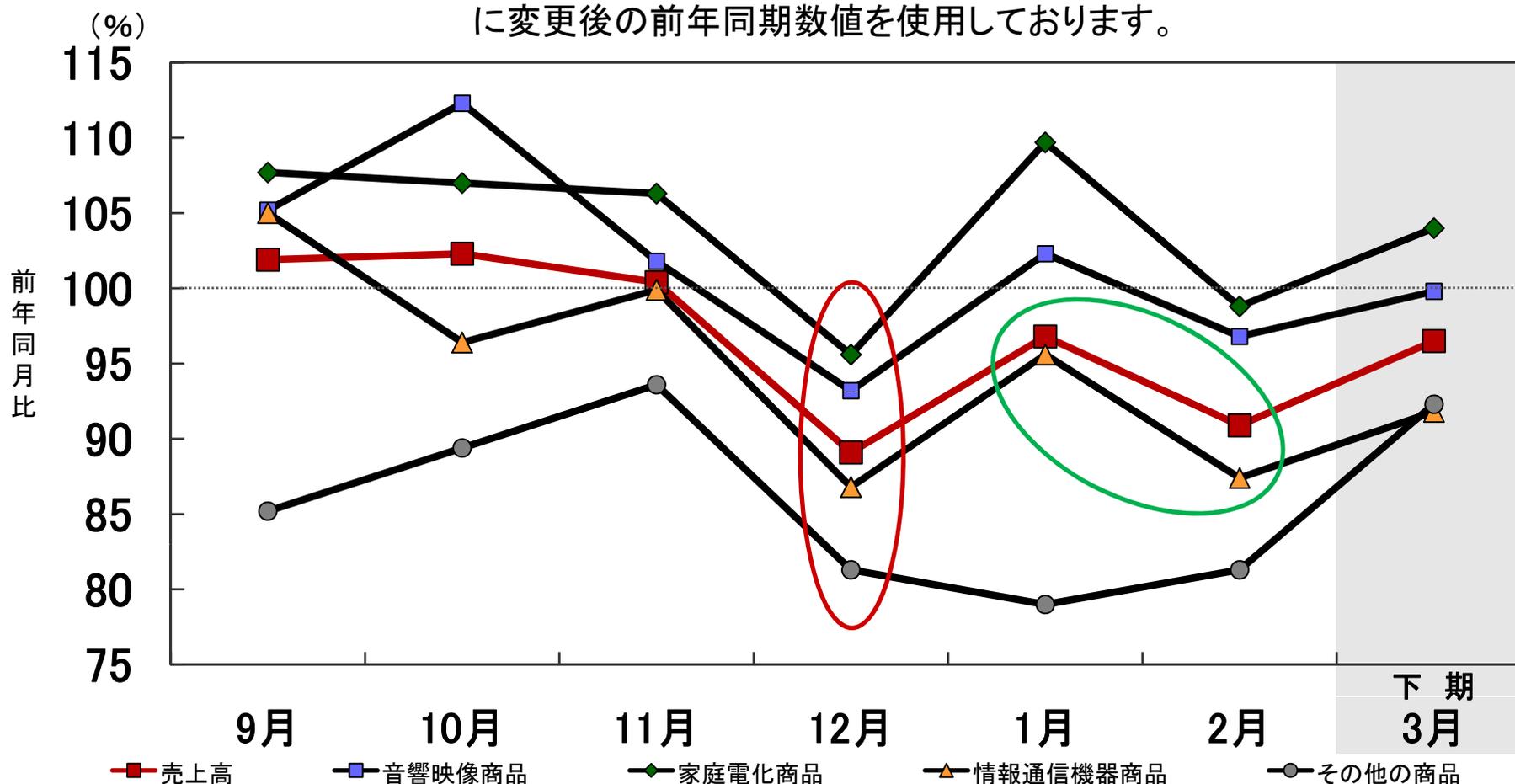
注 今期よりデジタルカメラのカテゴリーを「情報通信機器商品」から「音響映像商品」に変更しております。

※ 「カテゴリ変更反映後」の数値は、デジタルカメラを今期と同基準のカテゴリーで集計したものです。

〔単体〕品目別の月次売上高の推移

年末商戦の盛り上がり欠缺12月は苦戦 1月以降も情報通信機器商品を中心に伸び悩む

デジタルカメラの категориを「情報通信機器」から「音響映像」に変更後の前年同期数値を使用しております。



※実績は会計数値であり、毎月発表しておりますPOSデータを基にした「月次売上速報」の数値とは異なります。

〔単体〕主要商品の動向(08/9～09/2)

		主要商品の状況
音響映像	デジタルカメラ	単価、台数ともに前年同期比2ケタ減。従来好調だった一眼レフタイプも台数は堅調に伸びたものの、単価ダウンにより11月以降マイナスに転じた。
	テレビ	単価下落はあったものの台数の増加、大画面テレビの売上構成比の増加により好調に推移。
	DVD・BDレコーダー	ブルーレイディスクレコーダーが牽引。ブルーレイに一本化したことに加え、価格に値ごろ感が出てきたことやリンク機能の浸透により躍進。
家庭電化	冷蔵庫	省エネ・高機能化に加え、省スペース化もあり400L超の大型冷蔵庫の販売構成が増加により順調に推移。
	洗濯機	省エネ・高機能化に加え、洗濯・乾燥の基本機能がより強化された乾燥機能一体型のドラムタイプが単価を維持したことから順調に推移。
	エアコン	省エネ意識の高まりから底堅い需要があったものの、暖冬の影響により12月以降伸び悩んだ。単価は、省エネ・快適機能へのニーズの高まりから上昇。
情報通信機器	パソコン本体	ノートパソコンはネットブック(超小型ノートパソコン)の牽引により台数が大きく伸びたものの低単価のため前年同期並み。また、デスクトップパソコンは台数、単価ともに不振。
	携帯電話	イーモバイルの台数は前年同期比倍増となったが、このほかの携帯キャリアは伸び悩んだ。
その他	ゲーム	前年の高いハードルに加え大作ソフト等が無く、ゲーム本体、ソフトともに大苦戦。

〔単体〕2009年8月期 上期に開店した新店

ビックカメラ

JRの駅に直結した2店を開店

浜松店



2008年11月20日
JR浜松駅にオープン

新潟店



2009年2月20日
JR新潟駅にオープン

ビックカメラ

2. 2009年8月期 業績見通し

足元の消費動向、子会社範囲の変更に伴う
業績予想の修正

(単位 百万円)

	2008年8月期		2009年8月期(計画)			
	実績	売上比	計画	売上比	増減額	前期比
売上高	630,740		582,000		▲48,740	▲7.7%
営業利益	16,346	2.6%	11,700	2.0%	▲4,646	▲28.4%
経常利益	16,612	2.6%	12,400	2.1%	▲4,212	▲25.4%
当期純利益	▲1,662	▲0.3%	5,000	0.9%	+6,662	-

前期比減収・減益も
下期ではコスト削減の成果による利益率改善を見込む

売上高 5,820億円

- ビックカメラ 前期比▲345億円、▲7.1%
- ソフマップ他 連結子会社も景気減速の影響を受ける

営業利益 117億円

- コスト削減効果 + 新店出店コストなし
- 日本BS放送の収益改善

当期純利益 50億円

- 特別利益の計上なし、特別損失も減少

足元の消費動向から業績予想を修正
特別損失減少し当期純利益の改善を見込む

(単位 百万円)

	2008年8月期		2009年8月期			
	実績	売上比	計画	売上比	増減額	前期比
売上高	489,542		455,000		▲34,542	▲7.1%
営業利益	15,651	3.2%	10,000	2.2%	▲5,651	▲36.1%
経常利益	16,311	3.3%	11,000	2.4%	▲5,311	▲32.6%
当期純利益	▲3,543	▲0.7%	▲500	▲0.1%	+3,043	-

子会社の状況

ソフマップ

ビッグカメラグループ

	2008/8期	2009/8期	
	通期	通期	
		計画	前同比
売上高	105,728	96,403	▲8.8%
営業利益	414	321	▲22.5%
利益率	0.4%	0.3%	

- 売上が伸び悩むものの、経費コントロールを行い下期は前年同期と同水準の営業利益率を確保

※当社はソフマップの単体のみを連結対象としております。なお、同社の決算期は2月であり、同社発表の単体業績と、上記数値は異なります。

日本BS放送

	2008/8期	2009/8期	
	通期	通期	
		計画	前同比
売上高	2,346	3,020	+28.7%
営業利益	▲1,505	▲703	-

- 広告収入が伸び悩むものの、今期は開局コスト無く前期比利益改善

設備投資・減価償却の計画

		2009年8月期計画
設 備 投 資		7,000百万円
内 容		<ul style="list-style-type: none"> ・新規出店（浜松、新潟） ・既存店舗リニューアル ・ビックカメラドットコムリニューアル ・物流、POSシステム 等

		2009年8月期計画
減 価 償 却 費		2,850百万円
内 容		<ul style="list-style-type: none"> ・店舗、設備の増加（前期比+17%）

安定配当の継続

	'06/8期	'07/8期	'08/8期	'09/8期計画
通期	500円※	750円※	1,000円	1,000円

※2007年9月1日に株式分割(1:2)を実施しており、修正後の配当額を記載しております。



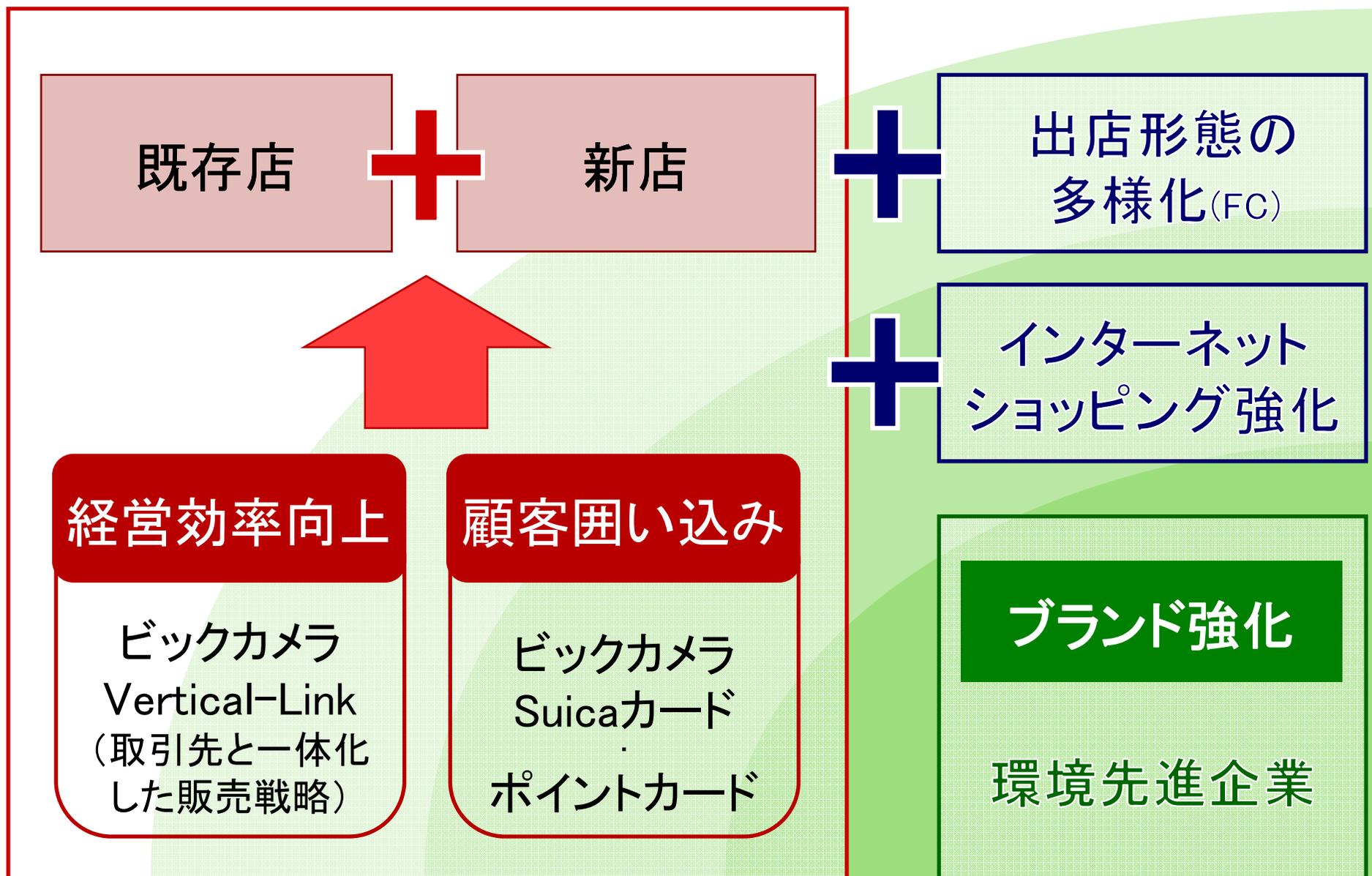
株主優待制度

保有株式数に応じた株主優待制度

長期株主を優遇する株主優待制度

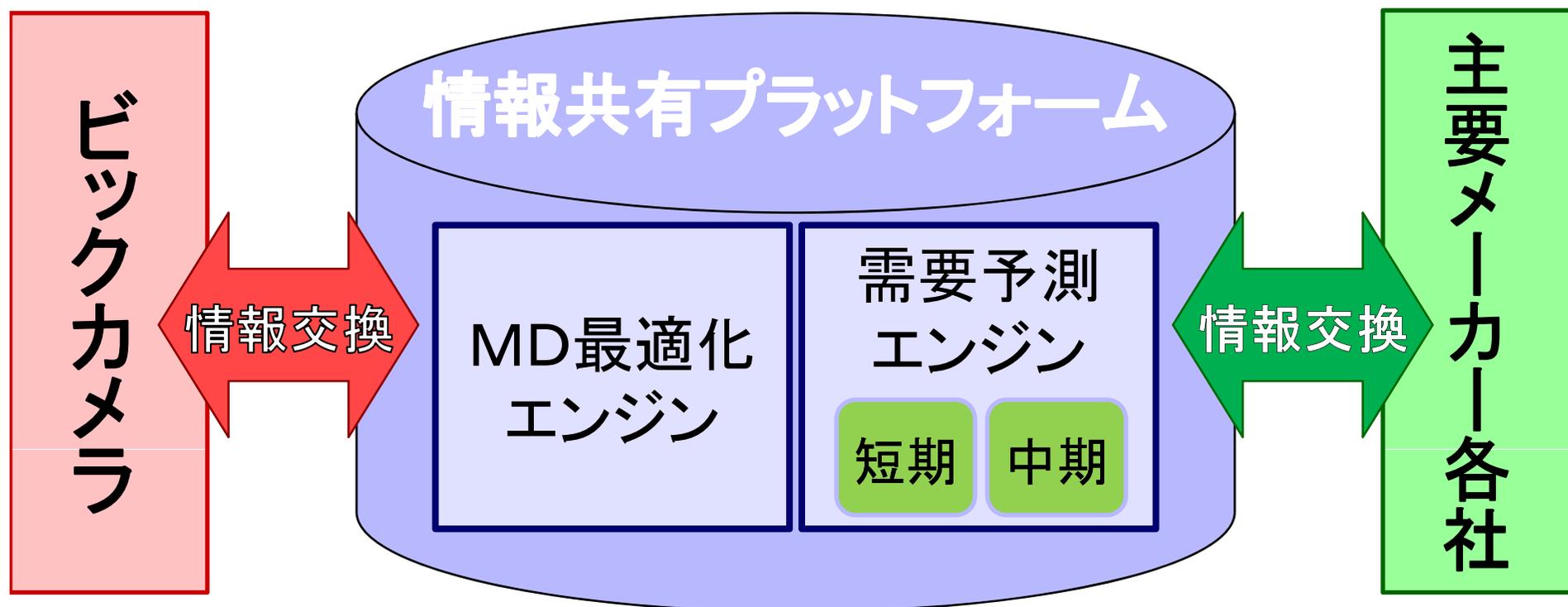
ビックカメラ

3. 今後の重点施策



1.経営効率向上

ビックカメラ Vertical Link(BIC V-Link)



2.新規出店 - 出店形態の多様化(FC店) -

ベスト電器との新事業

(株)B&B設立(ベスト電器90%、ビックカメラ10%出資)

当社とB&Bでフランチャイズ契約を締結し
ビックカメラの看板と品揃えで営業

- 本年6月にベスト電器山口本店を衣替えし1号店としてオープン
- 早い段階で数ヶ店に拡大予定

- ビックカメラのブランドと品揃えによる郊外でのチャレンジ

2.新規出店 - ビックカメラ新店舗 -

ビックカメラ

計画的な出店を継続

新潟店



2009年2月20日オープン

浜松店



2008年11月20日オープン

来期

鹿児島中央駅店(仮称)

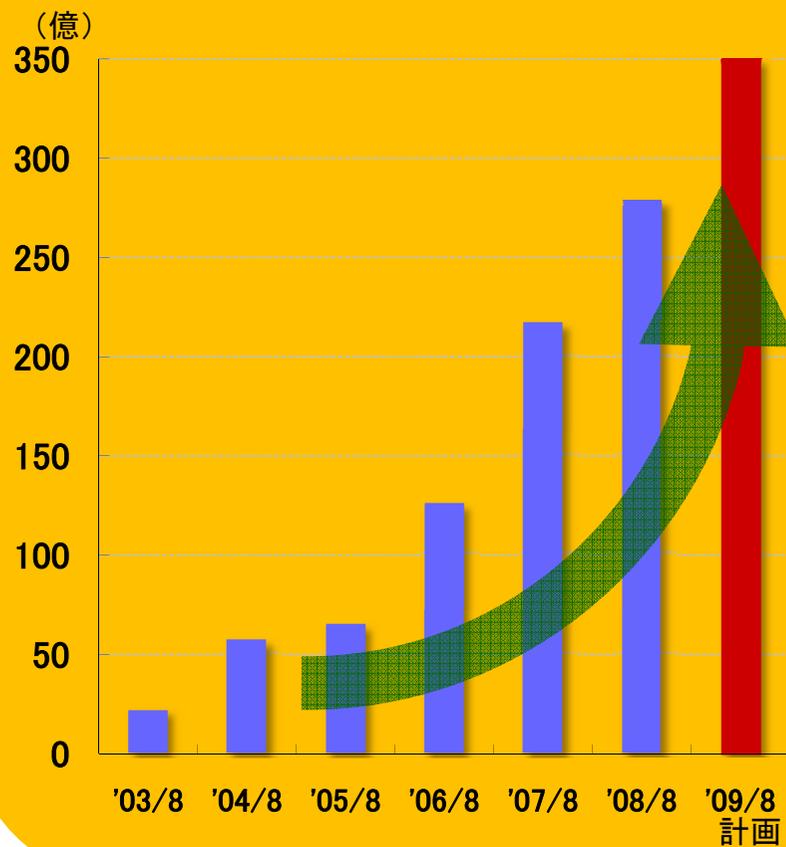


2010年春
JR鹿児島中央駅にオープン
面積 約5,500㎡(予定)

3.インターネットショッピングの強化

通信販売 売上高 前年同期比 124% (09/8期2Q累計)

通信販売 売上高推移(連結)



・ビックカメラドットコム
⇒前年同期比142%

- 更なる成長
- 利益への貢献に期待



4.顧客囲い込み -JRとのタイアップしたカード戦略-

当社独自の顧客囲い込みツール

- 交通系電子マネーの共通化 (駅前出店戦略に合致)
- ビックカメラSuicaカードの利用頻度はポイントカードの2倍以上
- JRとの提携カードの推進

発行 40万枚



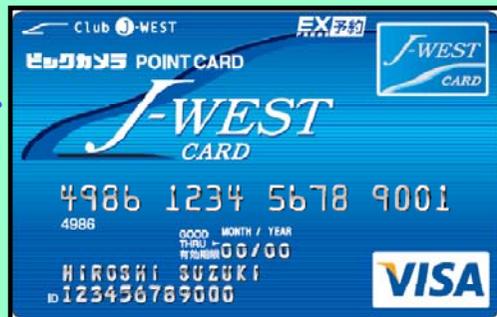
ビックカメラ
Suicaカード



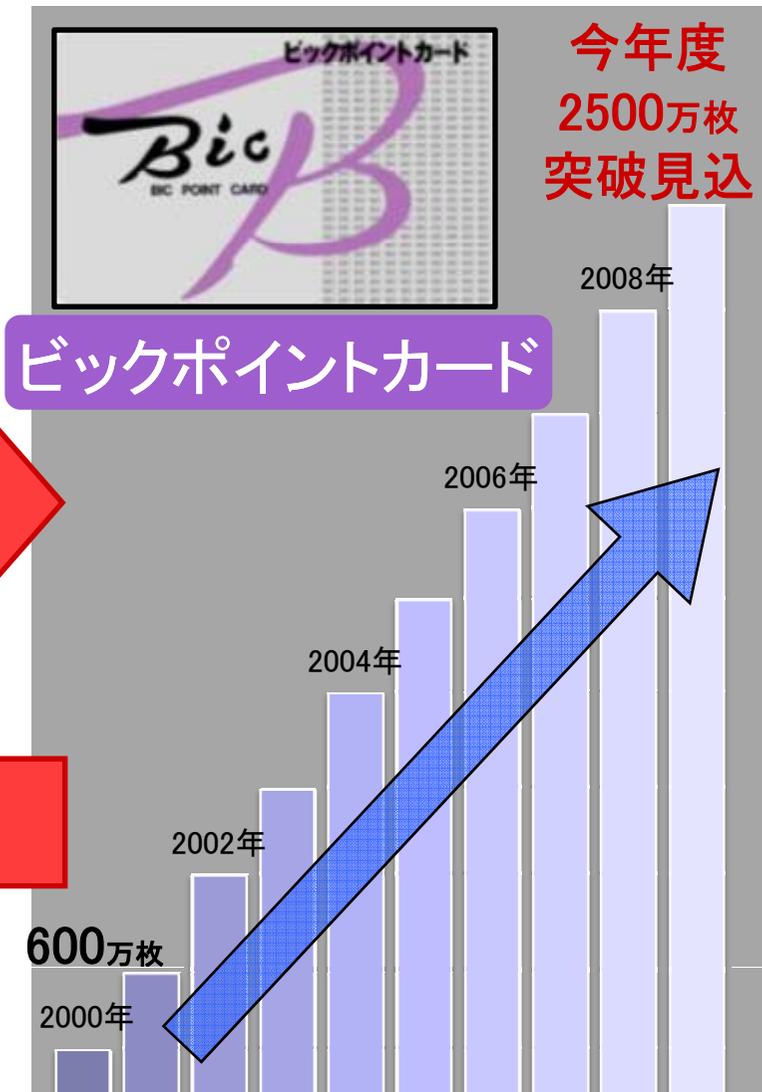
JR西日本との
カードも発行開始



J-WEST
カード



ポイントの交換
顧客利便性の向上



5.ブランド強化

環境先進企業

省エネ型製品 普及推進優良店

- 申請全店優良店として認定
- 経済産業大臣賞受賞(新横浜店)
- 制度開始当初より取組み



※2008年度は大規模家電販売店からは1,106店が応募

エコ・ファースト制度 認定第1号企業

- 家電小売業界では当社のみ
- 循環型社会の形成・地球温暖化防止に向けた取組み、家電リサイクルの推進を約束

家電小売業界では
当社のみ^に与えられた
エコ・ファースト・マーク



環境・省エネ = ビックカメラ

本資料は、当社の事業及び業界動向について当社による現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。

これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確かさが伴っています。既に知られた、もしくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、将来の展望に対する表明に含まれる事柄と異なる結果を引き起こさないとも限りません。当社は、将来の展望に対する表明、予想が正しいと約束することはできず、結果は将来の展望と著しく異なることもありえます。

本資料における将来の展望に関する表明は、2009年4月28日現在において利用可能な情報に基づいて、当社により2009年4月28日現在においてなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。

2009年4月 株式会社ビックカメラ